



ジュゴン Vol.103

ちゃんぷるニュース

SDCC 2019. 3. 26  
Save the Dugong Campaign Center

CONTENTS

- 2/3 情勢・ジュゴン訴訟支援へ取り組み
- 県民投票は「主権在民」の叫び
- ZAN 上映会
- 4/5 沖縄・東京・大阪の動き
- 6/7 東恩納市議の枚方交流
- わんさか通信★ジュゴンのわ
- コラムー琉球文明とは何か？



米軍普天間飛行場の移設に伴う名護市辺野古の新基地建設を巡る県民投票は、辺野古沿岸部の埋め立てに「反対」が、434,273 票を獲得した。玉城デニー知事の知事選得票数 396,632 票を大きく超える圧勝であった。「イデオロギーではなくアイデンティティー」と述べた故翁長前知事の言葉どおり、今沖縄は保革を乗り越えて「オール沖縄」として政府に抗っている。

# 歴史的な県民投票結果

安倍政権は、「県民投票の結果を真摯に受け止める」と言いながら工事を強行し、岩屋防衛相は、「県民投票前に工事継続を決めていた」と語たり、ジュゴンの棲む海を埋め立てている。3月4日には、県民投票の結果を無視し、新たな護岸K8に着手した。マヨネーズ状の軟弱地盤は、海面から最深 90 メートルに達し、世界でも例のない地盤改良工事と言われている。77,000 本もの砂杭を打ち込んで、地盤改良をするなど想像を絶する工事である。沖縄県は、工事費が2兆 5,500 億円に上ると試算し、辺野古新基地建設に庶民の税金が湯水のように使われているのだ。

本土のマスコミの報道内容も変わってきた。「沖縄の思いを受け止めよ」「国策なら何でも地方は受任せざるを得ないのか」(朝日)「結果に真摯に向き合え」「自分たちのまちで同じような問題が持ちあがり、政府が同じような振る舞いをしたら、自分はどうか・・・」(東京)

4月沖縄衆院3区補欠選挙、7月参議院選挙が目の前に迫っている。歴史的な県民投票の結果を受けて、私たち一人ひとりが行動していくときだ。国土の 0.6%に在日米軍専用施設の70%が集中している沖縄。この現実を変えるために力を合わせ行動していこう。ジュゴンの棲む海・ちゃんぷるの自然を守るために！  
(首都圏 三村昭彦)

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)

3/4 三線の日にごり前に座り込むジュゴンちゃん (6面)



反対 73%という名護の結果が出て喜ぶ新基地建設反対県民投票連絡会事務所の皆さん。(4面)

情勢

# ジュゴン訴訟の支援を多くの人に呼びかけましょう

## 1. 普天間基地の即時閉鎖を

3月1日、安倍首相は玉城デニー知事との会談で辺野古埋め立て断念を求める県民投票の結果を「真摯に受け止める」と言いながら、「(普天間基地の移設について)先送りできない」と居直り、埋め立て工事を強行しています。しかし、軟弱地盤などの問題で埋め立て工事の目途すら立っていません。3月15日、防衛省は辺野古埋め立て予定地の軟弱地盤改良工事に3年8か月かかるとする報告書を国会に提出しました。浅瀬部分の改良工事を含めると約5年になります。「22年度に普天間基地を返還する」との政府公約は不可能です。さらに、埋め立てに5年、施設整備に3年の工期を必要とされているので、新基地建設まで13年以上かかることとなります。しかも、深さ90mにおよぶ軟弱地盤の改良工事を行う作業船が日本に存在せず、その技術力を持っていないこと。軟弱地盤改良後の地盤沈下についても、関西空港では着工後30年で13m沈下しているなどの問題が明らかになっています。さらに、埋め立て予定地に活断層が存在しています。辺野古新基地建設は不可能です。世界一危険な普天間基地をただちに閉鎖・撤去すべきです。

## 2. 沖縄ジュゴンの危機を世界に訴える

3月25日に辺野古側海域の②-2(33ha)に土砂を投入するとしています。ここは沖縄島で最も海草が密集している沿岸域で、ジュゴンの餌場です。2015年7月以降、

ジュゴンが2頭行方不明になっています。埋め立て工事などでジュゴンが餌場から逃げざるを得なかったのです。天然記念物で絶滅危惧種のジュゴンが危機的な状況です。16年におよぶ米国ジュゴン訴訟は1月から控訴審が始まりました。争点は①ジュゴンが生息している沖縄県と協議しないまま、国防総省と防衛省が工事を始めたこと。②ジュゴン2頭が埋め立て工事の影響で餌場から逃げざるを得なかったことです。昨年4月16日翁長雄志沖縄県知事(当時)がマティス国防長官に「米国国家歴史保存法に基づく、沖縄ジュゴンの保護についての協議の要請」を送っていますが、返事はありません。また、ジュゴンの行方不明問題に防衛省は原因不明と居直っています。玉城デニー知事は安倍首相との会談で米日沖三者会談を提案し、3月14日には辺野古埋め立て工事について国際社会へ訴えるとしています。ジュゴン訴訟は3月18日に国防総省の反論、4月17日には原告の意見書提出があります。裁判所が上記の二つの事実を考慮するように、4月に米国政府の行政(海洋哺乳類委員会と国家歴史保存諮問委員会)や、連邦議会への働きかけを強めるために、スタッフが訪米します。また、国際自然保護連合(IUCN)やジュゴン保護覚え書き署名国会議(Dugong MoU)に沖縄ジュゴン2頭が埋め立て工事の影響で行方不明になっている現状を訴えるなどで、ジュゴン訴訟控訴審で勝訴を勝ち取るための取り組みを進めます。沖縄ジュゴンの危機を国内外に訴えましょう。

## 沖縄県民投票の結果は「主権在民」の叫び

2月24日、辺野古県民投票は投票率52.5%、埋め立て反対72.1%でした。自民、公明両党の妨害にも拘らず県民の過半数が投票、埋め立て反対票がデニー知事の知事選挙得票数の約39万6千票を4万票上回る結果となりました。「主権在民」を叫ぶ県民の勝利です。また、「埋め立てを直ちに中止せよ」(琉球新報社説2月25日)、「計画断念し代替策探れ」(沖縄タイムス社説2月25日)が県民世論です。「世界一危険な普天間基地」を抱える宜野湾市民は、投票率51.8%、埋め立て反対66.8%と県内での基地たらいまわしに反対しています。移設先になっている名護市民は、投票率50.5%、埋め立て反対が73.0%と、97年市民投票に続いて反対が多数です。県民投票の結果、安倍首相は玉城デニー知事と会談せざるを得ず、安倍首相は「(県民投票の結果を)真摯に受け止める」と言いつつも、「(普天間飛行場の)危険な状況を先送りできない」と無策ぶりを露呈しています。「今まさに、日本政府の民主主義が問われているのです」

(玉城デニー知事:3月1日安倍会談)。本土で平和と民主主義、地方自治を求める運動の真価が問われているのです。3月2日、辺野古ゲート前の県民大行動に参加した1300人は、さらに闘う決意を固めあいました。大手マスコミの論調も変わってきています。安倍・玉城会談をふまえて朝日新聞は「対話なしに展望なし」(3月2日社説)。県民投票の結果をふまえて毎日新聞は「『辺野古が唯一の選択肢』の固定観念を正せ」(2月28日社説)。日経新聞ですら「辺野古打開へ国と沖縄は対話の糸口を探れ」(2月24日社説)と安倍内閣を批判しています。憲法95条は「一つの自治体のみには適用される国の法律は、その自治体の住民投票で過半数の同意を得なければならない」としています。沖縄県民が県民投票で示した「主権在民」の叫びに連帯して、本土で埋め立て阻止の闘いを広げましょう。

(事務局 蛭川義章)



大阪

# OKINAWAじゅごんを救え！！ ～米国裁判所にジュゴン登場～



3月17日にジュゴン訴訟報告会を開催しましたが、会の初めに日本自然保護協会作成のドキュメンタリー映画「ZAN」を上映。きれいな辺野古・大浦湾の海がこれでもかというくらいたくさん出てきて、なんて綺麗な海なんだろうと感動しました。5300種にもなる多くの生物がこの海で生息しています。改めてこの海を守らないといけないと思いました。見ごたえのある映画で、こういう映画を見る機会があれば是非見て欲しいと思った作品でした。

後半は、SDCC 国際担当の吉川秀樹さんからジュゴン訴訟の経緯を聞きました。吉川さんのお話しは非常に聞きやすく、ジュゴン訴訟のことがよくわかりました。2003年から始まったジュゴン訴訟はすでに15年も経っています。勝ったり負けたりを繰り返しながら決着できていません。その背景には、アメリ

カでも初となるアメリカ国外での出来事であることや、ジュゴンを対象としている異例続きの裁判というのにも関与しているのかと思います。辺野古の海のことは作っているのは日本政府であっても、使うことになるアメリカにも責任がある！当たり前のことを問う裁判に、今後も注目して見ていく必要があります。今日は有意義な内容の濃いお話で感動もしましたが、決意も新たにする1日でした。（関西 上田千鶴）

SDCC 国際担当  
吉川秀樹さん



吉川秀樹さんも  
安部真理子さんも、  
映画「ZAN」に登場しますよ



東京

# 「ZAN～ジュゴンが姿を見せるとき」上映会

2月23日大井町きゅりあんで、「ZAN～ジュゴンが姿を見せるとき」上映会を開催しました。

沖縄県民投票前日でもあり、開場前から多くの方が来場され、60名を超える方々で会場いっぱいとなり、辺野古・大浦湾の現状への関心の高さがうかがえました。第1部上映会では、すばらしい辺野古・大浦湾の海、生物多様性豊かな自然が美しく映し出され、また沖縄では古くから人とのかかわりの深いジュゴンが暮らす海草藻場が米軍基地建設埋立によって破壊され、失われてしまうことも語られました。3頭いたジュゴンのうちすでに2頭が行方不明になっています。そして先日残り1頭の死骸が発見されました。もう一刻の猶予もありません。

第2部では日本自然保護協会の安部真理子さんより、「辺野古埋立問題の現状」をテーマにお話していただきました。映画では語れなかった多くの問題点、

各地からの土砂搬入による自然破壊、サンゴの移植など指摘されました。参加者のアンケートから「大浦湾の自然がどれほど貴重なものかわかった」「多くの方に広めたい」など感想がありました。この現状をさらに多くの人に伝え、私たちができることを行っていきましょう。（首都圏 小安深幸）



日本自然保護協会・安部真理子さん

沖 縄

# 破綻した建設計画を断念させるための総掛かりの闘いへ

～3.16 県民大会に参加して～

県民投票で辺野古埋め立て反対の民意が改めて示された翌日も琉球セメント安和棧橋から埋め立ての赤土土砂を大浦湾に向け海上搬出を進めてきた安倍政権。県民投票前から埋め立ては継続する方針を決めていたと言ってはばからない防衛大臣。3月25日からは新たな区域への土砂投入を開始するという防衛局。そして、岸壁修復工事のため中断してきた本部港塩川地区（塩川港）からの海上搬出が4月から再開されようとしている緊迫した状況の中で迎えた「土砂投入を許さない！ジュゴン・サンゴを守り、辺野古新基地建設断念を求める3.16 県民大会」。

毎日毎日安和棧橋ゲート前で少しでも搬出を遅らせるための行動を担ってきている私たち本部町島ぐるみ会議からは30人を超える市民がマイクロバス、乗用車に分乗して参加した。

県民投票で示した民意を一顧だにしないどころか、あざ笑うような工事の強行に県民の怒りを総結集するための大会。そして、改めて辺野古新基地建設阻止に向けた具体的取り組みへの大きなうねりを作り出すための県民大会。しかし参加人数は約1万人。あれっ？と思ったのは私一人では無かったと思う。

もちろん、2.24 県民投票で圧倒的な民意が示されたことを確認し、内外に大きくアピールすることの意義は大きく、また、県民投票を担った若い世代が壇上から、おじい、おばあにいつまでも闘いを背負わせるのではなく一緒にあって辺野古新基地を止めるための取り組みを進めたいと力強く決意を示したことに、これからの闘いの展望を見ることが出来ると言うべきでしょう。

計画が破綻し、何の展望も無い中、闇雲に工事を強行する安倍政権を震撼させる沖縄・本土一体となった文字通り総掛かりの闘いのうねりを作り出す。そのための最前線の場で本部町島ぐるみ会議も頑張りたい。

(沖縄 高垣喜三)



沖 縄

# 2・16海上大行動から2・24 県民投票を取り組んで

県民投票の応援で名護に行き、2月16日の海上大行動にもカヌー隊として参加してきました。

まず「県民投票を成功させる名護市民の会」を訪ね、朝だちやピウまきをしました。2月16日海上大行動は、県民投票一週間前ということで地元の取り組みで忙しい人もおり、カヌー隊の参加者は以前の大行動より少なく42名でした。カヌー隊の参加者自体は少なかったものの、県民投票前に辺野古の綺麗な海を見たい！という人々で抗議船は溢れ、全体の海上大行動は120名強の参加となりました。風の強い中、バナーを掲げたり、シュプレヒコールをしたり、手作りの横断幕を掲げたりしました。3分の2程のカヌー隊はオイルフェンスを越えて抗議をしました。

海上大行動の翌日は、「名護市民の会」の仲間と、普天間閉鎖集会にも参加しました。そして投票一週間前からは自転車隊、タ立ち、手振り、模擬投票の手伝いもしました。一人自転車隊で「反対にマルを」の幟をつけて走っていると「頑張ってるね」「おばちゃんも反対だからね」等、声をかけられました。



投票3日前からは「新基地建設反対県民投票連絡会名護支部」の宣伝カーに乗り、スポット演説の手振りやウグイスを手伝いました。

投票日当日は、夕方から大雨になりましたが、最後まで投票の呼び掛けを続けました。県民投票は大勝利に終わりましたが、埋め立ては続いています。3月25日も新工区への埋め立てに反対する海上大行動が予定されています。1人でも多く現地に駆けつけ新基地建設を止めよう！

(関西 岡村藤美)

## 東京 ロブ・カジワラさん講演会

2月20日衆議院第一議員会館において、「翁長前知事の遺志をついで 沖縄 辺野古日米対談イベント」が開催されました。辺野古での米軍新基地建設を巡る県民投票が終わるまで工事を止めるよう、トランプ米大統領に求める電子署名運動をした日系4世のロブ・カジワラさんが来日し講演しました。来日に当たって、関西空港の入国管理局で不当にも2時間近く拘束され尋問を受けたことが明らかにされました。

ロブ・カジワラさんは、「安倍首相は琉球のウチナンチューの権利を侵害している」「ウチナンチューへの民



族的偏見がある」と厳しく批判しました。

署名は、210,980筆（3/3 現在）まで到達し、現在新署名「Save the democracy and coral reef of Okinawa」（3月29日）が展開されています。

（首都圏 三村昭彦）

## 東京 辺野古新基地反対！沖縄県民投票の黙殺を許さない 3・16首相官邸前アクション

沖縄の県民大会に呼応して、首相官邸前でも集会が行なわれました。呼び掛けは、「止めよう！辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会です。

沖縄県民大会で、玉城知事のメッセージを代読する



謝花副知事の音声が流され、オール沖縄会議から連帯のメッセージも届きました。

参加した各団体から、「莫大な税金の無駄使いで、深刻な環境破壊が進められている」「県民投票で、72%の人が新基地反対の意思を示した。それでも工事をやめない。植民地だ」と、怒りの声。

「辺野古」県民投票の会の元山仁士郎さんも、「県民投票の後も工事が進められている。沖縄への侮辱だ。なぜ、民意が伝わらないのか！」と憤り、「私たちは、もっとやれることがあるはず」と、発言。それを受けて、次々に「自分事として考えよう」「沖縄を孤立させるな」などの発言が続き、参加した2500人が、首相官邸に向かって、「軟弱地盤に基地は無理」「沖縄差別をするな」「ジュゴンを守れ」と声を挙げました。

（首都圏 宮城韶子）

## 大阪 大阪駅前でシール投票



2月24日 SDCC も呼びかけ団体として参加する Stop！辺野古新基地建設！大阪アクションが、沖縄県民投票につながって辺野古新基地の是非を問うシール投票を大阪駅前で行いました。

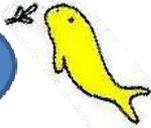
13時の開始まえには、「シール投票をやっていると聞いてきたんや」と、お年寄りがやってきました。お子さんをつれた女性に辺野古の海が赤土で無残に壊されている写真を見せると、「まず工事は止めないとおかしいですね」と投票してくれました。「今日は沖縄で県民投票です。辺野古の問題は全国の問題です。賛成の方も反対の方もまず自分の意見を表明してください。本当に基地が必要なのか、まず考え議論しましょ

う」と訴えると若い方もすすんで投票してくれました。結果は賛成9 反対158 どちらでもない4。沖縄県民の声が本土の世論を変えつつあると実感しました。

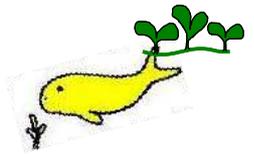
（関西 松島洋介）



報告



# じゅごんの里ツアーの下見報告 ～ 春の沖縄旅 ～



2月28日～3月4日県民投票直後に宜野湾市(佐喜真美術館・そいそいハウス)・名護市(中縄愛楽園・辺野古)・伊江島を訪れ、それぞれの場で追い風が吹いているのを感じました。

普天間居場所づくりプロジェクトの赤嶺さんとそいそいハウスで、ツアーの打ち合わせを兼ねてゆんたく(おしゃべり)。今年もお世話になります。「足の悪いお年寄りが雨の中タクシーに乗って投票に来たんだよ。県民投票は全世代が動いたんだ」と教えてくれました。基地のある暮らしを誰もよしとは思っていないということ。



ゲート前で三線の日の練習

3月2日は大行動日、ゲート前は続々と人が集まって来て熱気が溢れていました。国会議員も駆けつけ、文子おばあ、翁長樹子さんも座ってられました。「県民投票の民意はじわりと効いてきていること」が力強く語られ、政府も認めない軟弱地盤に「海が自然が抵抗している!」と。一人ひとりの抗い続けるエネルギーが充満していました。

グラスボートで大浦湾を巡ると、波は穏やかで透明度が高く海巡り日和、何種類もの魚が泳ぎまわるアオサンゴを見ることが出来ました。瀬嵩の浜にはどっさり揺り上がる貝やサンゴのかけらたち。たくさんの貝を拾いました。大浦湾はほんとうに豊かな海。しかし、オレンジのフロートが海を仕切り、土砂を積んだ船が停泊し、海は壊されつつあります。座り込みテント村に居た時、無線で「K8護岸着手」の緊急連

絡が入り、いたたまれなくなりました。目を背けたくなる受け入れ難い現実。警備員が立ちだかるゲート前で土砂搬入のトラックを横目にどうしたら止められるのかと自問自答しながら座り込みました。



貝を拾った瀬嵩の浜

伊江島では、わびあいの里の第17回学習会に参加、阿波根昌鴻さんの「非暴力平和運動」の精神を改めて学びました。島ぐるみ闘争へと広がった伊江島土地闘争の拠点であった「団結道場」がリニューアルされたこと、県民投票で若い世代が動き出したことを思い、私たちの取り組みはさらなる段階へと進んでいるのだと感じます。辺野古が唯一と思考停止していると捨てられるのは日本だと思ふ。6月のツアーの時にはどこまで強行されているだろうか、私たちはどれだけ止めているだろうか。あきらめることなく、辺野古ストップの取り組みを続けよう。



リニューアルされた団結道場

今年のじゅごんの里ツアーは6月28日～30日で、新しいコースも準備しています。どうぞご参加ください。

(関西 池側恵美子)

※詳しい報告は、ブログにアップしています



## 東恩納名護市議が、枚方・大津市民の地域変革を激励!



2月9日、「平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会(略称:枚方市民の会)」主催の「変えよう枚方を!市民自治を考える集い」で東恩納たくま名護市議が講演しました。枚方市は名護市の友好都市でもあり、枚方市民の会はジュゴンの里ツアー(SDOC主催)に参加し、名護市との交流を深めてきました。4年前、東恩納さんは枚方市民の会が取り組む地域変革を支援するために、手塚たかひろ枚方市議や松田久子さんらの市議会議員選挙の応援に駆けつけました。

東恩納さんは講演で、辺野古埋め立て工事の現状の報告と、1月29日に辺野古周辺住民らと「国が行った辺野古埋め立て承認撤回の執行停止」は違法であり、執行の即時停止と損害賠償請求を求める裁判を那覇地裁に提訴したこと、沖縄県民が準備している県民投票の意義などについて報告しました。枚方市民の会からは沖縄県民投票と連帯して市民投票を取り組むことや、市民の声が反映できる市議会をつくるために枚方市議選に二人の立候補を準備していることなど

が報告されました。

翌10日、東恩納さんは「平和と市民自治のまち大津をともに作る会」(中川てつや代表)主催の「平和と市民自治を考える集い」にも参加し、基地に頼らない住民主体のまちづくりを報告しました。

(事務局 蛭川義章)



S

琉球文明とは何か? ~ くらむ・コラム ~

1月25日、新著『琉球文明の発見』（藤原書店）が出版された。「卑弥呼コード・龍宮神黙示録」の完結編であるが、両書とも、日蓮宗本澄寺の三好龍孝さんとの親交がなければ生まれなかった本である。三好さんには、誠に感謝するばかり。これまで謎のままだった東アジアの古代史が、特に、ユダヤ民族と南西諸島の奴人との関係が一挙に見通せるようになって、それが琉球文明の発見に繋がった。

勿論、書き下ろしの当初から、気づいた訳ではなかった。龍宮神信仰に関わる「巴、邑、大、山、三」などの甲骨文字を調べれば、もしかすると古代の謎が解けるかも知れないとの期待感があるだけであった。ところが書き進めるうちに、黄河文明が南西諸島の奴人たちによって誕生したものであることが立証できることに気づかされたのである。驚いたことに、古代中国の殷王朝・周王朝だけでなく、ユダヤ民族が最初に建国したイスラエル王国も、奴人の宗教を西方に持ち帰ることによって

きた国であった。また、徐福渡来以降の日本列島に卑弥呼を女王とする倭国が誕生したのも、そして、四世紀の崇神以降、大和朝廷の軍事政権による龍宮神迫害の歴史から逃れて琉球王国の誕生を見たのも、宗教を守り、非暴力思想・絶対平和主義を守り、理想郷作りを諦めない人々による琉球文明の形があったからであった。

今、辺野古で闘われている問題は、まさに宗教問題であり、平和だったイスラエル王国が南朝ユダヤ王国とに分裂した時からのまつろわぬ民との因縁の対立であり、龍宮神ジュゴン信仰を天皇が受け入れるかどうかの問題であるということに尽きる。五月十九日は本澄寺コンサート。その前に四月七日は平安座島の龍宮祭。翌八日が龍宮神に感謝する「三月祭・サングァチャー」が行われる。丁度、米国でのジュゴン訴訟に動きのある頃、私は神人として裁判の成功を祈っていることになる。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）

① わんさか通信 ★ ジュゴンの ②

名物シーサー・さみシーサー

名護市役所をご覧になった事がありますか？

二色のブロック使いのシマシマ模様で解放感がありお役所らしからぬ庁舎、「陸のサンゴ礁」と評され日本建築学会賞を受賞した素敵な建物です。

コンセプトは「外に向かって沖縄を表明する市民のための市庁舎、地域の自立と自治をなう拠点」市民の意見も反映させ公募によって決まったデザインをもとに1981年に完成しました。

その壁面に56体のシーサーが設置されました。（55の集落と市庁舎自体を表し合わせて56体にしたそうです）

しかし漆喰製の手作りシーサーは劣化が進み現在は45体に。台風や塩害の影響で破損したり、落下する危険がある為、惜しまれながらも3月末までに全て撤去される事になったそうです。残念！

回廊け、守り神という意味もありますが、このひとつひとつ個性的で表情豊かで愛らしい姿がなくなるのはとっても淋しい。思いが詰まった素敵な庁舎なのです。

（中縄・小平）



撤去が決まった名護市役所 外壁を飾るシーサー。  
（写真：沖縄タイムスより）



# ジュゴンが危機的状況に!

3月18日、今帰仁村の漁港でジュゴンの死骸が見つかりました。これで、沖縄で生息が確認されている3頭のジュゴンのうち、1頭は死亡、2頭は行方不明。沖縄ジュゴンはまさに絶滅の淵に立たされています。先ずは、工事を止めて、残りの2頭の生存確認し保護することが求められます。ジュゴンはサンゴ礁生態系のフラッグシップスピーシス(その種の保全が自然環境の保全をアピールすることにつながる象徴種)、そして沖縄県各地の民話や古謡に登場する歴史的にも文化的にも貴重な生物です。

保護区を制定して、ジュゴンを絶滅から救おう!

## 《 今後のスケジュール 》

<首都圏>

4/19(金)政府交渉

4/19(金)SDCC 年次総会 18時半開場 19時~20時半  
大井町きゅりあん

4/20(土)・21(日) アースデイ東京 2019 代々木公園

4/29(月・休)基地・軍隊はいらない 4/29 集会 18:30~  
文京区民センター

<関西>

4/13(木)おきなわ茶会 13時~16時 モモの家(吹田市)

4/25(木)、5/30(木)じゅごん茶話会 14時~16時 関西事務所

5/4(土)11:00-17:00、5(日)10:00-16:00 アースデイ神戸  
みなとのもり公園(神戸震災復興記念公園)

5/26(日)ピースマーケットのせ 10時~16時  
能勢町浄るりシアター



## <第19回 SDCC 総会の案内>

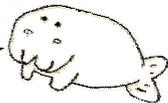
4月19日(金) 18時半開場 19時開会~20時半  
会場:品川区立総合区民会館「きゅりあん」6階中会議室  
(JR大井町駅徒歩1分)

議事:海勢頭豊共同代表「沖縄の動き」  
吉川秀樹国際担当「ジュゴン訴訟控訴審の動き」  
1年間の取り組みと今後の方針案の議論など

※入場無料、予約不要です。

沖縄県民投票で7割の県民が埋め立て反対を明らかにしたにもかかわらず、安倍内閣は埋め立て工事を強行しています。その埋め立て工事は軟弱地盤や活断層、環境破壊など多くの問題で新基地建設工事の工程すら見通しが立っていません。3月16日の沖縄県民大会をふまえて、ジュゴン訴訟控訴審勝利にむけた取り組みや、本土での連帯の取り組みなどを交流したいと思います。会員、協力者の皆さんのご参加をお待ちしています。

会員外の方も  
大歓迎です



## 第13回じゅごんの里ツアー

日程 6/28(金)~30(日) 2泊3日

参加費 32000円+今年度SDCC会費2000円

宿泊2泊・船・レンタカー・ガイド料・食事代(飛行機代は含まれません) 那覇空港集合・解散です。

詳細は下記事務所までお問い合わせください。

\*締め切り 6月9日(日) 定員になり次第締め切ります

辺野古や沖縄の基地の現状を知り、地元の方々と交流、やんばるの海や森の自然を満喫する会員向けのツアーです。辺野古、大浦湾は、5300種を超える生物が生息する生物多様性豊かな海。まずこの海を知ってください。そして一緒に守りましょう。

## シールで広げよう! 署名&ジュゴン訴訟の輪



沖縄ジュゴンを身近に感じてもらおうとシールを作りました。まわりの人に配って広げてください。送料+カンパでお送りします。

※シールの直径約9cm

色んなところに貼ってジュゴン保護をアピールしよう~♪

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL.103 2019年3月26日発行  
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)  
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1  
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377  
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ [info@sdcc.jp](mailto:info@sdcc.jp)  
(関西事務所) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302  
TEL/FAX 06-6353-0514

## 会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター

口座番号 00140-9-660199

他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店

口座番号 普通 8159084

\*春は引っ越しシーズンですね。お引っ越しの際は、新住所を事務局までお知らせください。

\*ちゃんぶるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします\*

お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!

